

★ 連絡用紙 ★
主任監督 宛

1. 受験生に次の内容を口頭で伝えてください。
2. その後、下記の枠内の訂正文を黒板に大きく板書してください（訂正文は絶対に読み上げないでください）。
3. なんらかの理由により板書が確認できないと申し出た受験生には、試験本部から届いた訂正文をそのまま見せて対応してください。

試験問題の訂正文	
「問題訂正連絡用封筒」にサインおよび時刻をご記入ください。	
誤	
7行目 いくための習ガガ人類史の未曾 ^會 有の 危機が私達に迫っていることかも 知られません。
正	
同 いくための習ガガ、人類史の未曾有の 危機が迫る中で、私達に 知ら ること は必ずしも 知られません。

2012年度
早稲田大学 創造理工学部 創成入試
建築学科
第一次選考 筆記試験問題

《注意事項》

1. 試験時間は午後1時～午後3時30分です。
2. 問題冊子および解答用紙には、試験開始の合図があるまで開かないでください。
3. 解答用紙には、所定欄に受験番号および氏名を記入してください。
4. 解答用紙の裏面の使用は認めません。
5. 解答には黒鉛筆を使用してください。濃さは自由です。シャープペンシルの使用は認めません。
6. 解答用紙の裏面の使用は認めません。
7. 正規の解答用紙のほかに、下書き用紙が配布されます。ただし、下書き用紙を解答用紙として提出することは認めません。
8. 問題冊子は持ち帰ってください。
8. 解答用紙は必ず提出してください。
9. 問題冊子は表紙を除いて 1枚です。
10. 解答用紙は 1枚です。

2012年度 創造理工学部
創成入試 第一次選考
建築学科
(問 題)

人類史の起源は、最も身近な血縁集団による互助と自然との調和と一体化にありました。そこからはるか遠くまで来てしまった現代世界の状況は、世界規模の気候変動、食料不足、地震、津波、台風、噴火、大雨、干ばつ等々の自然災害に加えて原発事故に象徴されるエネルギー問題や平和をめぐる危機のために社会システムの根本的課題の解決に迫られているように思われます。このような状況は、自然科学や技術に留まらず、建築学にとっても、立ち向かうべき基本的な課題であることを見失わずに思い続けなければなりません。そして改めて根底から一步一步その課題に近づいていくための努力が人類史の未曾有の危機が私達に迫っていることかも知れません。

以上のような事柄に対して、これから建築学を志す諸君が、どのように身近で具体的な問題から歩を進めようとするのか、たとえば、自然のエネルギーや素材を生活、建築、都市に生かす方法を伝統的知恵から学ぶとともに、現代的に発展させるためにはどうしたらよいか。あるいは、自然のリズムと光と影の変化を空間にとり入れた生活は、建築や都市に何をもたらすのか、等々。

諸君が今後目指していきたいという方向を、諸君の身近な生活や環境の観察から考え、描画と200字以内の文章によって表現して下さい。

